

平成21年度「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」 第2回勉強会の開催結果概要

1. 日 時 平成21年8月21日(金) 18時00分～19時30分
2. 場 所 葛南地域整備センター 大会議室
3. 参加者 14名(委員4名、一般1名、県1名、関係者5名、事務局3名)
4. 座 長 遠藤茂勝委員
5. 次 第 1) 護岸バリエーションの検討について
2) その他

6. 概 要

1) 護岸バリエーションの検討について

- ・ 護岸バリエーションに関して意見交換を行った。

[主な意見等]

- ・ アクセス路の前の部分は、人が降りていくことが予想されるので、安全の面から法先に変化をつけないほうがよいのではないか。
- ・ 小段の幅は2mで十分と思う。
- ・ A案の断面2を基本断面とするのはどうか。
事務局回答 バリエーション区間以外も階段状とするのは事業費の問題もあり難しい。
- ・ 法先に砂を付ける場所も設けた方がよい。
- ・ 緑化試験で雑草が繁茂していることから、緑化する範囲を決める際は、人が歩く部分を緑化すると雑草で歩きづらくなることを考慮するべきである。
- ・ 階段の勾配は1:2よりも1:3とし緩やかな勾配としたほうがよい。また、階段部にもなるべくコンクリートを使わない方がよい。小段4mにこだわらなければ1:3の階段がよい。
- ・ 一般の人が護岸を見にこれたほうがよいと思うので、完成した区間を解放していったほうがよいと思うが、事務局の考えはどうか。
事務局回答 工事期間中でもあり難しい。
- ・ 工期の短縮のため、海側(A P + 3m以下)の被覆石を先に(4～8月)施工し、後で(9～3月)陸側の被覆石の施工をすればよいのではないか。
事務局回答 工期を有効に使えるよい提案であるので、今後検討したい。
- ・ 親水のことを考えることも大事だが、早く護岸整備の進捗を図ってほしい。
事務局回答 公共事業は早期に効果を出すことが求められるので、なるべく早く完成形を作りたいと考えている。

[傍聴者からの意見]

- ・ 特になし。

2) その他

- ・ 公開調査・現地見学会を9月4日に開催する予定である。また、次回護岸検討委員会を9月下旬に開催する予定である。